学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校３年生	社会科	日本史探究	4	特進文系私立型
教科書・副教材	詳説日本史探究(山川出版社) ウイニングコンパス日本史の整理と演習(とうほう) 日本史一問一答完全版（東進ブックス）			

科目の目標
●科目について 本科目は、1 年次に履修した「歴史総合」での学習を基盤とし、わが国の歴史の展開を国際環境や地理的条件と関連付けて、より深く掘り下げていく選択科目です。単なる知識の暗記に留まらず、多様な歴史資料を活用して自ら問いを立て、仮説を検証しながら、各時代の特色や歴史の転換を「探究」する学習を重視します。原始・古代から近現代までを対象に、日本が世界の中でどのような歩みを経て現在の姿に至ったのかを多角的に理解することを目指します ●コンピテンシーについて 1. **資料活用力と情報の精査技能**: 文献、遺構、統計などの多様な歴史資料から必要な情報を適切に収集・読み取り、歴史の叙述を客観的な根拠に基づいて多面的に整理・分析する技能を習得します。 2. **多角的な思考力と論理的表現力**: 現代の諸課題と歴史的背景を関連づけ、物事を多面的・多角的に考察する力を養うとともに、自分の考えを根拠に基づいて論理的に説明し、他者と建設的に議論する力を磨きます。 3. **主体的な社会参画の意識と国際理解**: 歴史への深い理解を通じて自国の伝統や文化への認識を深めると同時に、他国の文化も尊重できる広い視野を持ち、よりよい社会の形成者として主体的に課題解決に取り組もうとする態度を培います。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	わが国の歴史の展開を国際環境や地理的条件と関連付けて理解しているか、また、多様な資料から歴史に関する情報を適切に収集･整理する技能を身に付けているかを評価します。	各時代の特色や事象の意味を多面的･多角的に考察し、客観的な根拠に基づいて自分の考えを論理的に説明したり､他者と議論したりできているかを評価します。	歴史の諸課題について､よりよい社会の実現を視野に主体的に探究しようとしているか、また、自らの学習状況を振り返りながら粘り強く調整して学ぼうとしているかを評価します。
評価の方法	小テスト 単元テスト 定期考査 パフォーマンスウィーク パフォーマンス課題	小テスト 単元テスト 定期考査 パフォーマンスウィーク パフォーマンス課題	授業内ワークシートへの取り組み テキストへの取り組み 提出物 単元テストと提出物への取り組みを二軸で評価 自学自習ノートへの取り組み

年間学習計画

学期	学習内容	時数	評価方法
1	**第１１章 近世から近代へ**	5	上記の評価の仕方に基づく
1	**第 12 章 近代国家の成立**	7	
1	**第 13 章 近代国家の展開**	12	
1	**第 14 章 近代の産業と生活**	4	
1	**第 15 章 恐慌と第二次世界大戦**	6	
2	**第 16 章 占領下の日本**	5	
2	**第 17 章 高度成長の時代**	5	
2	**第 18 章　激動する世界と日本**	5	
2	**演習**	20	